

ストップ食品ロス！！

～食べ残しに「もったいない」を～

12 つくる責任
つかう責任



チーム名

「 食品ロス解決
プロジェクトチーム 」

花北青雲高校 2年

- ・ 石田 愛美
- ・ 八重樫 柚月
- ・ 柳谷 小十美
- ・ 佐藤 綾香
- ・ 熊谷 成美
- ・ 菊池 由芽叶

背景①

- ・飲食店で食べ残しをしている子どもや大人を見かけ、「もったいない」と感じることも多かった・・・
- ・そこで私たちは、SDGs No12「つくる責任 つかう責任」の食品ロスについて考えることにした。

12 つくる責任
つかう責任

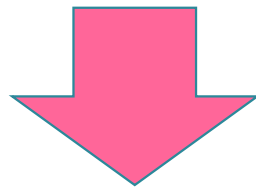


背景②

なぜ食品ロス
が起きるの
か・・・？

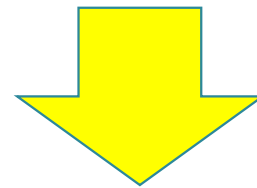


世界には食べら
れない人もたく
さんいる・・・



残した食べ物を貧
しい人に渡したら
何人が助かるの
か？

作ってくれた人
に対して・・・



感謝の気持ちが
足りないので
は・・・

親が子どもにたく
さん食べてほしい
と思う・・・



子どもに成長し
てほしい！！

データ① 「食品ロスはどのくらい？」

食品ロスについて調べていくと・・・

食品ロスとは・・・

「本来食べられるのに捨てられてしまう食品のこと」

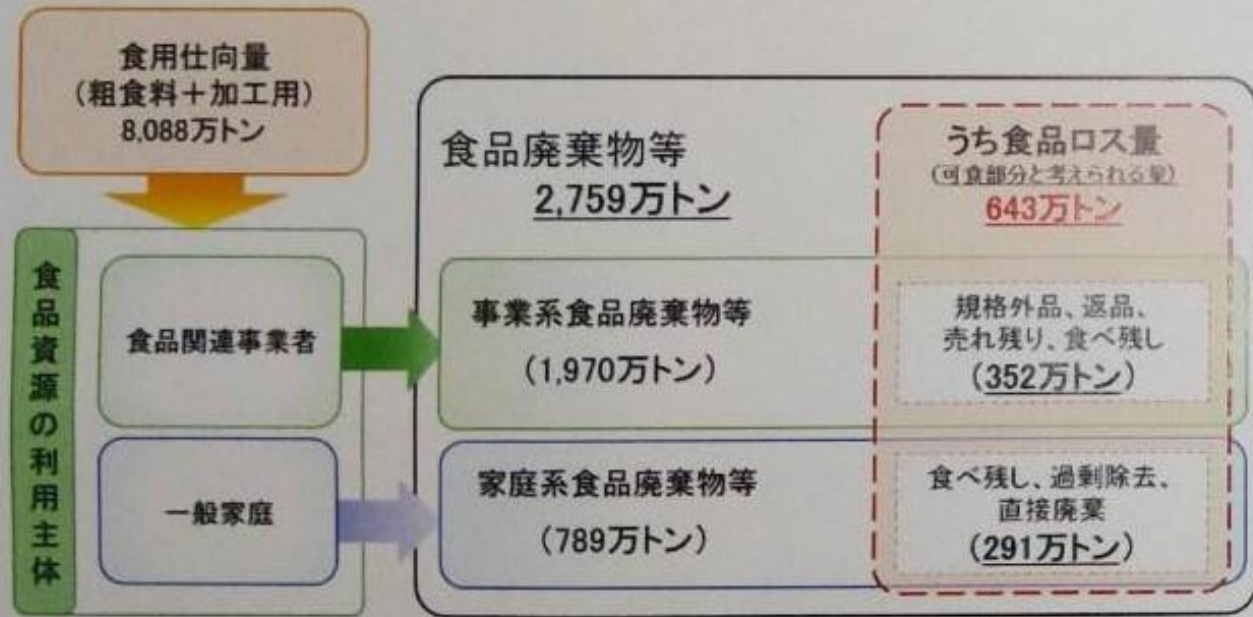


**ごみ処理費用は
およそ2兆円**

データ②「食品ロスはどこから発生しているの？」

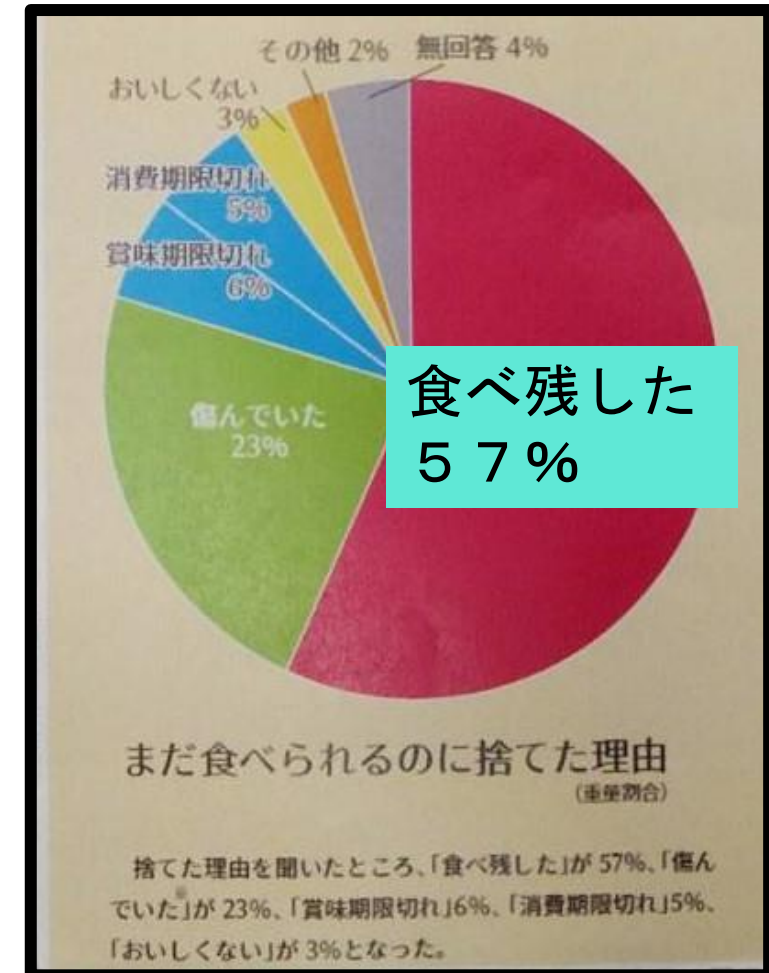
- ・日本の食品ロス量年間643万tのうち、事業所は352万tで、主に規格外品、返品、売れ残り、食べ残し等となっています。
- ・家庭系からは291万tで、主に食べ残し、手付かずの食品、皮の剥きすぎ等が発生要因となっています。

食品廃棄物等の発生状況 <概念図>



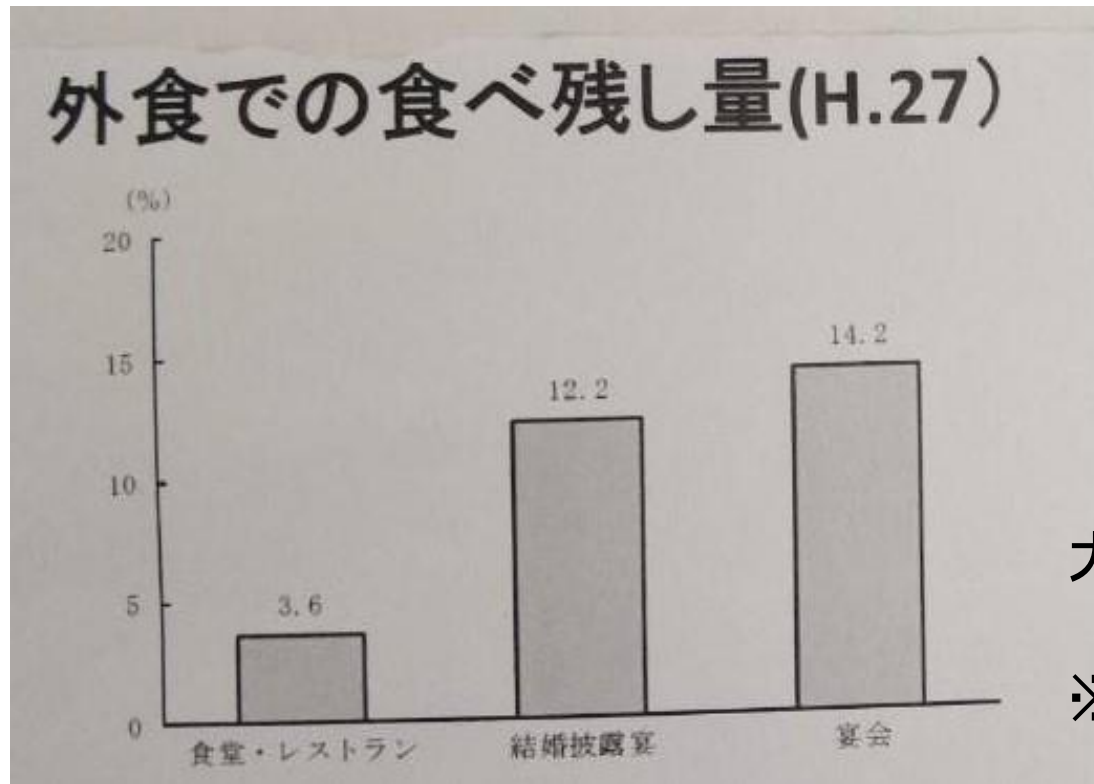
資料：農林水産省及び環境省「平成28年度推計」

資料：農林水産省及び環境省「平成28年度推計」



データ③ 「食品ロスが多い場面は??」

どのような場面で食べ残しが多いか調べたところ
「宴会」が最も多かった！！



先に大人に「もったいない」を思わせたい！！

大人が食べ残しをしていると子どもも食べ残す
⇒ 子どもの食育に悪影響が・・・
※「食べ残してもお金さえ払えば・・・」など

データ④ 「私たちの住むまち花巻では・・・」

ごみの発生量と資源化の実績（花巻市回収分）

項目		単位	目標値	H29実績
家庭系ごみ	可燃ごみ	t/年	11,507	15,275
	不燃・粗大・埋立	t/年	1,073	861
	資源ごみ	t/年	5,570	4,353
	合計	t/年	18,350	20,849

花巻市HPより

※花巻市で排出されるゴミのうち、
約90%を「燃やせるゴミ」が占めている。

※燃やせるゴミのうちゴミの質を分析すると、
約3分の1が「生ごみ」
という結果になった。

そこで・・・今回のターゲットは、、、

- ・花巻市の観光名所である花巻温泉様をターゲットとして、食べ残しを減らす取り組みを考えることにした。
- ・まずは、花巻温泉様に次のようなアンケートをとり、食べ残しの現状について伺った。



12 つくる責任
つかう責任



「花巻市内宿泊施設アンケート」①

花巻温泉 様

Q 1 : 今、食べ残しに困っていますか？

A 1 : いいえ

Q 2 : 食べ残しは「もったいない」と思いますか？

A 2 : はい

Q 3 : 大人の食べ残しをどう思っていますか？

A 3 : バイキング形式だと、自分の食べる分量を適切に取り分け食べていただきたいと思います。

「花巻市内宿泊施設アンケート」②

花巻温泉 様

Q 4 : 宴会の食べ残しは、ポリバケツ何杯分ですか？

A 4 : **約 2 杯分**の量

Q 5 : 食品ロスについて何か取り組みをしていたら教えてください。

A 5 :

- ・コロナ禍での小皿での料理提供
- ・花巻市で取り組む

「3010運動」

を推奨し、声掛けをしている。

Q 6 : 私たちが食べ残しを減らす取り組みを提案したら協力していただけますか？

A 6 : **取り組み方により、ご協力可能です！**

プロジェクト名！！

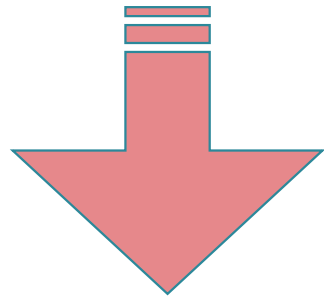
「感謝を込めて完食プロジェクト」

12 つくる責任
つかう責任



厨房の方々からのコメントや、
料理中の動画を、
温泉の様々なところで流し、
お客様に、
料理を作る方への感謝の心を感じてもら
える環境を創造する！！

『おしながき』に
スマホで読み取れ
るQRコードを貼
り付ける



読み取ると動画を見ることが
できる



なぜこのプロジェクトを??

- ・新型コロナウイルスの影響がある「今だからこそ」、また宴会等が増えた時の対策を練ろうと思った。

- ・作ってくれた人に対して「感謝の気持ち」を持つことを「当たり前」にしたいと思った。

- ・「動画」なら宴会の場だけでなく、食堂やレストランの近くでも流せると思ったから。

「感謝を込めて完食プロジェクト」

プロジェクトの予想される効果

- 作ってくれる人の気持ちや、料理にかかる手間を動画で知ることによって、感謝の気持ちを持ち、「食べ残しが減る」と考える。
- 食べ残しが「もったいない」という意識が高まる。
- 宴会での食べ残しが減る⇒大人の食べ残しが減り、「子どもの食育」にも良い影響を与える。



「感謝を込めて完食プロジェクト」

これからの展望「私たちが目指したいこと！」

- ・自分たちが働きかけることで、まわりの人に食品ロス問題の重大さを気づかせ、食べ残しに対する意識を変えさせたい！



「感謝を込めて完食プロジェクト」

私たちは、全ての人が食への感謝の気持ちを忘れず、
食べ残しが無くなることを目指します！

ご清聴ありがとうございました。



ごちそうさま
でした！



「感謝を込めて完食プロジェクト」